



## ごあいさつ

平素より格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、今般の新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

このたび、組合員並びにお取引先の皆さまに当組合の経営内容をお伝えし、より一層のご理解を深めていただきたく本誌を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

当組合は昭和27年に創立以来、堅実・健全経営に努め、地域の皆さまから愛され親しまれ、信頼される金融機関を目指してまいりました。おかげさまで業容も健全性を確保し、今日の揺るぎない経営基盤を築きあげることができました。これもひとえに皆さまのご支援の賜ものと深く感謝いたしております。

2019年度は、天皇陛下のご即位や令和への改元など、日本が新たな時代を迎えました。景気は米中貿易摩擦や中国経済減速による影響等により、輸出や生産活動を中心に弱めの動きが続いたものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復が続いておりました。しかし、2020年2月以降は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、企業の生産活動や家計の消費活動が停滞したことで、景気は急速に悪化しております。

今後の地域経済につきましては、新型コロナウイルス感染症の終息時期が不透明であり、終息までの期間が長びくことで中小・零細企業の業況悪化が懸念される状況です。また、従来からの人口減少や高齢化といった構造的な問題を抱え、中小・零細企業では、人材不足や事業承継などの経営課題の顕在化が想定されます。

このような前例のない事態の中で、今年度、当組合は新型コロナウイルス感染症による地域経済の停滞を打破すべく、中小・零細企業のお客さまや個人のお客さまに寄り添い、金融円滑化やコンサルティング機能の発揮を通じて支援に努めてまいります。

当組合は“夢あるくらしのパートナー”をモットーに地域の皆さまと共に歩み、地域と共に発展する信用組合を目指して役職員一同さらに努力を重ねてまいります。今後とも尚一層のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2020年7月

理 事 長 山本 英博